

Urban 7 を G 7 公式エンゲージメントグループとして認定

※Urban7 (U7) について

G7各国の都市連合で構成。G7首脳会議及び閣僚会議へ共同して意見を述べることを目的として、2021年発足。G7議長国（2026年はフランス）がその年のUrban 7 議長国を務め、市長サミットの開催や、市長宣言のG7首脳会議等への手交等を調整

- U7は、2026年のG7議長国であるフランスのもと、**G7の公式エンゲージメント・グループとして初めて認定**された。
- これにより、U7は、都市や地域の視点を代表する枠組みとして、G7の議論に公式に関与し、提言や意見表明を行うことができる。

※エンゲージメント・グループは、各国政府による会合であるG7において、政府から独立した多様な関係者の声をG7の議論に反映させるために活動する団体等。

2026年は、Urban7の外、Business7（経済団体）、Civil7（市民活動団体）、Science7（研究機関）など10の組織が認定されている。

2026 Urban 7 市長サミットについて

【日時】 2026年6月2日（火）～6月4日（木）

【場所】 フランス・ナンシー

【概要】 ・ G7各国を始め、多くの国から市長や政府関係者、研究者等が参加
・ 現在の社会情勢を踏まえ、レジリエントな都市に向けた課題や解決策等について議論やワークショップなどを実施
・ 6月15～17日にフランス・エビアンで開催予定のG7首脳会合に向け、Urban7市長宣言をとりまとめる

- ➔ ・ 日本（指定都市市長会）からは**久元 会長**が御参加
- ・ 登壇プログラムや発言内容については現在調整中